

地震の被害と対応

春日部市に想定される地震は、主に以下の2つの地震です。今後30年以内に70%の確率で発生すると言われています。

- 茨城県南部地震** 最大震度 **6強**
- 東京湾北部地震** 最大震度 **6弱**

建物被害	木造	1,076棟
	非木造	104棟
	全建物	1,180棟
人的被害	死者	54人
	重傷者	58人
	軽傷者	603人
生活支障	避難者(1週間後)	17,919人
	外出先 帰宅困難者	35,910人
	市内	19,848人
ライフライン	上水道 断水人口	132,733人
	下水道 機能支障人口	69,992人
	都市ガス 供給停止件数	53,218件
	電力 停電世帯数(直後)	29,497世帯
	電話 不通回線数	649回線

平成28年(2016年) 熊本地震

平成28年(2016)4月14日21時26分、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード6.5(最大震度7)の地震が発生し、その約28時間後の4月16日1時25分、同じ熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.3(最大震度7)の地震が発生し、地震活動域は熊本県阿蘇地方や大分県中部にまで拡大しました。最大震度1以上を観測する地震の回数は、最初の震度7の地震から5か月後までに4,000回を超えるなど、地震活動は広域で極めて活発となり、熊本県を中心に甚大な被害が生じました。

死者(災害関連死者)	272名
負傷者	2,808名
住家被害 全壊	8,668戸

出典:消防庁応急対策室 平成30年10月15日13:00時点集計



熊本県上益城郡益城町 平成28年4月23日 写真提供:国土交通省 九州地方整備局

日頃から地震に備えて、自宅を点検しておこう!

地震が発生した場合の被害を最小限にするため、次の情報を確認し、いざという時に備えておきましょう。

地震対策は行政だけでできるものではありません。命や財産を守るためには、みなさん一人ひとり、あるいは、家族が協力して普段から備えておく必要があります。

屋根・雨どい

- 不安定なアンテナがある
- トタンがめくれている
- 瓦のひび・割れ・剥がれがある

ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険がある

外壁

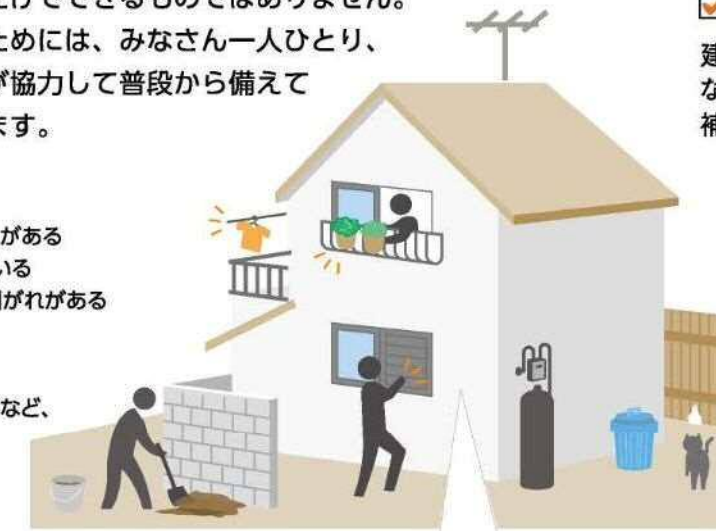
- 基礎に亀裂がある
- モルタルの壁に亀裂がある

窓

- 窓枠のがたつきがある
- 雨戸のがたつきがある
- 窓ガラスの飛散対策をしていない

家屋の耐震診断を行うことも大切です

消火器や水バケツの設置も大切です



安全かチェックしよう

建物や周りのもの、家の中の家具やガラスなど、地震に対する安全性をチェックして、補強や配置換えなどを行っておきましょう。

ブロック塀

- 傾きやひび割れなどがある
- 破損している箇所がある

その他

- ガスボンベが固定されていない
- (店などの)看板のぐらつきがある
- 倒れそうなゴミ箱や植木鉢などが固定されていない
- 庭木に添え木をしていない

室内

- 背の高い家具が固定されていない
- 家具の上に重いものや、割れるものがある
- 玄関、廊下に大きな家具や荷物がある
- ストープに自動消火機能がついていない
- ストープの近くに燃えやすいものがある
- カーテンの防災処理がされていない

寝室にはスリッパと笛、懐中電灯を備えておくことが重要です。(懐中電灯は携帯電話のライトでも代替することができます)

地震発生!!



まずやること

シェイクアウト

低い姿勢で、頭を守って揺れがおさまるのを待ちましょう。



避難の注意 - あわてず、冷静に

すばやく火の始末

「火を消せ!」とみんなで声を掛け合い、調理器具や暖房器具などの火を消しましょう。

周りに気をつけよう

塀が倒れたり、火災が発生します。ガラスや瓦などの落下物に注意しましょう。

余震に注意

余震が繰り返し起こります。あらかじめ危険の少ない避難路を調べておきましょう。



感震ブレーカーの設置

電気火災対策に効果的です

地震発生時に設定値以上の揺れを感じた場合に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。

分電盤タイプ



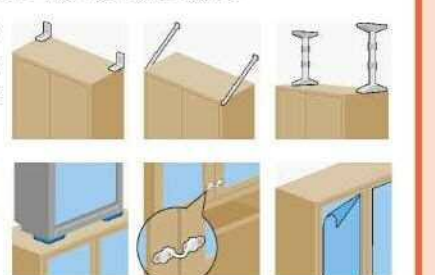
他にも、コンセントタイプ/簡易タイプなどもあります

家具の転倒防止対策

家具の下敷きにならないように固定しましょう

阪神・淡路大震災では、犠牲者の約8割が家具の転倒や家屋の倒壊による圧死で亡くなりました。ホームセンターなどに市販されている物で簡単に対策できますので、必ず設置しましょう。

- L字金具 ● チェーン固定
- 突っ張り棒
- 家具転倒防止板
- 粘着マット ● 開き戸固定
- ガラス飛散防止フィルム



春日部市に想定されている地震

「揺れやすさ」マップ

「揺れやすさ」マップとは、地盤の状況と、春日部市が最も影響を受けると想定される2つの地震（茨城県南部地震・東京湾北部地震）が発生した場合、その地域が最大でどのくらい揺れるかを色別で示したものです。下記のマップでは、色が濃いほど大きな揺れとなることを示しています。

ご自身や親戚などが住んでいる地域にどれくらいの震度が想定されているかを確認しておきましょう。
※このマップに示している震度は、あくまで想定であり、地震発生の場所や規模によって、このマップより大きな揺れになる可能性があります。

今後30年以内に
70%の確率で発生!

想定地震名	マグニチュード	春日部市の最大震度
茨城県南部地震	7.3	6強
東京湾北部地震	7.3	6弱

二つの地震の想定震源域



「液状化危険度」マップ

建物・堤防・橋梁（きょうりょう）・ライフライン施設などに影響を及ぼす液状化の可能性の大きさを判定して、地域の液状化の起こりやすさを示したものです。「液状化危険度」は、「揺れやすさ」をもとに、春日部市の詳細な地盤情報を利用して作成しています。

※「液状化」とは？

ゆるく堆積した砂地盤などが地震で激しく振動し、まるで液体のように一時的にやわらかくなることで、建物などを保持する力を失い、大きな被害をもたらす現象です。

